

臨時火山情報

第1号

平成12年8月16日15時15分
若松測候所 発表

火山名 磐梯山

磐梯山では、8月14日以降急激に地震回数が増え始め、15日には1日の合計で400回を超え、1965年の観測開始以来最も多くなっています。あわせて有感地震や火山性微動も観測されており、火山活動が活発化しています。

今後、山頂での小規模な噴火の可能性も否定できないことから注意して下さい。

磐梯山の火山性地震は、8月14日に179回を数えましたが、昨日8月15日に入って急激に増加し、416回に達しました。本日16日に入ってから火山性地震のやや多い状態が続いています。

また、15日23時04分には山体直下でマグニチュード2.9のこれまでで最大規模の地震が発生し、猪苗代町で震度1を観測するなど、昨日1日でマグニチュード2を超える地震が4回発生しています（うち有感地震2回）。

火山性微動は14日に1回（継続時間31秒）、15日に2回（継続時間40秒と55秒）観測されています。

磐梯山山頂の南南東1.8kmにある気象庁地震観測点（A点）で観測した8月14日以降の地震回数は次のとおりです。

8月14日	179回
8月15日	416回
8月16日	
00時～01時	4回
01時～02時	6回
02時～03時	2回
03時～04時	1回
04時～05時	13回
05時～06時	1回
06時～07時	0回
07時～08時	1回
08時～09時	3回
09時～10時	1回
10時～11時	0回
11時～12時	0回
12時～13時	6回
13時～14時	3回
（14時までの合計）	41回

なお、遠望監視カメラ及び地殻変動観測（GPS）によるデータには、特段の変化はありません。

気象庁では磐梯山の活動を引き続き注意深く監視しています。

火山活動に大きな変化があれば、火山情報で随時お知らせします。